

学校 番号	67	学校名	下伊那農業高等学校
----------	----	-----	-----------

令和2年度学校評議員活用状況報告書

第 3 回学校評議員会 【令和3年2月22日（月）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- (1) 意見聴取方法
学校評議員会の開催
- (2) 参加者
①学校評議員 4名（3名欠席）
②本校教職員 9名（校長、教頭、事務長、教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、農場主任、自治活動主任、教務係）
- (3) 協議事項
①学校より（現況、授業評価、学校評価まとめ、今年度の進路状況まとめ、生徒状況、農業科の新コース制度についての詳細な説明、今年度の生徒会活動のまとめ、同窓会100周年記念事業に係る施設設備の充実等について）
②意見交換

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 学校の状況説明は端的に行い、学校評議員全員から多角的・多面的な視点でご意見をいただくよう努力した。
- 学校評議員からの意見や質問に対し、多くの職員に丁寧に回答いただくことで、両者全員が参加し自由に意見交換ができる雰囲気をつくるよう努力した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- コロナ禍で生徒会活動が制限されたと思われるが、生徒達は満足できたのか？→例えば文化祭では、自分とは違う学科での体験学習を行う等、楽しみながらできる企画を考案したことにより、例年になく生徒自身が盛り上がる事ができた。コロナ禍を逆手に取り十分満足できる企画を考える事ができた。
- 就職は、新型コロナウイルス感染症の関係で地元志向になったか？→県外に出る生徒が減り地元に残る生徒が増加した。
- ICT教育の効果はどのように検証したか？→生徒達の授業アンケート等で効果を検証した。かなりの生徒が、分かりやすさを強調していた。
- 農業科のコース制はととても魅力的であり期待したい。→そのように感じていただきありがたい。今後は、これらの学習を更に効果的なものになるよう、精度を高めていきたい。
- 自転車事故が多いようだが、保険に加入はしているのか？→自転車通学する者は、必ず保険に加入するようにしている。保険に加入することが許可の条件になっている。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- 2カ月間にも及ぶ臨時休業での授業進度の遅れについては、ICT教育を充実させ分かりやすい授業を展開することで、回復することができた。今後も続く新型コロナウイルス感染症への対応策として、今回の経験を活かしていければと改めて実感させられた。
- 創立100周年を終え、本校の長い歴史の中で地域に果たしてきた役割を改めて実感することができた。今後は、これらの礎を基に、農業科の新しいコース制を踏まえながら、地元根差した地域に貢献できる農業高校を目指し、さらに努力していきたい。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。

※会議資料、新聞記事等提出できるものがあれば添付してください。